

改善計画書(兼改善状況報告書)

作成日 : 平成 20年 12月 25日

評価日 : 平成 21年 6月 1日

グループホーム名	グループホーム春のうらら
----------	--------------

作成者(代表)	職名	管理者
	氏名	箕島美保

改善計画書(兼改善状況確認書)

優先順位	改善項目No.		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(平成21年 6月 1日現在)
	自己	外部				
1	8	5	運営推進会議を活かした取り組みを行う	災害時等に構成委員の方々とどうい協力が得られるのか話し合っていく。又、今後他のグループホームの運営推進会議に委員と共に見学し、勉強会的なことを実施していく。	1年間内	平成21年1月27日第5回運営推進会議にて、災害時の協力依頼し話し合いを行い了解を得られた。消防団との連携を図るように進めている。他のグループホームの運営推進会議に参加することができるように了解を得た。
2	15	8	運営にかんする家族会等意見の反映	きちんとした家族会を発足し、家族会中心の活動を行っていく。	1年間内	家族会の中心になって頂けるリーダーを検討中である。
3	47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有	看取りに対しての各関係機関と職員全員でどう取り組むのか勉強会を行っていく。	1年間内	職員が不安なく看取りができるように5月に勉強会を行った。
4	19	10	職員を育てる取り組み	出来るだけ一人1回は、研修会に参加していただけるように計画を立てて参加していく。	1年間内	1年間の研修会参加の計画を立て、三分二ぐらいは研修会に参加し、ホームに持ち帰り報告を行った。
5	47		服薬支援	確認の意味で、時々薬剤師や医療連携の看護師による勉強会を行っていく。	6カ月	12月に薬剤師による勉強会を実施して基本的知識を説明して頂きケアに活かしてる。
6	1	1	地域密着型サービスとしての理念を作りあげていく	もっと簡単で、独自の理念を全員で話し合っ作りあげていく。	6カ月	年度初めのミーティングで、スタッフで話し合い、再構築する。
7	30		馴染みの人や場との関係継続の支援	年度初めにふるさと訪問計画を取り入れる。場合によっては、ご家族の協力もお願いする。	1年間内	その人にとってのふるさととは、どこなのか、帰りたい場所、会いたい人を探り、御家族と協力を得ながら実行した。
8	40		地域資源との協働	利用者の意向を取り入れボランティアを多方面から募る。	1年間内	昨年は、「お習字教室をして欲しい」と要望があり、お習字のボランティアを募ることができ、消しゴムで作った㊦をプレゼンとして頂いた。今後も繋がりを大切にしたい。
	60		お金の所持や使うことの支援	個々の力量に合わせ「自分の買い物」ができるように支援する。 (買い物計画を立てる)	1年間内	約月に1回買い物に行くように計画を立てたり、その日に希望があり、買い物に行くように対応している。御家族と相談の上、「定額給付金が入ったら・・・」と言う利用者もおられ、楽しみにされている。